

第6号様式（第14条関係）

2014年4月9日

新宿区長 へ

法人名 特定非営利活動法人 結婚相談 NPO  
所在地 東京都新宿区西早稲田 3-24-8 サンボックス 5F  
(フリガナ) リジチョウ カゲヤマ ヨリヒサ  
代表者氏名 理事長 影山 頼央 印

## 協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第14条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 201,040 円

1 助成対象事業

事業名	代理お見合いで少子高齢化問題と向き合う！ 結婚相談 NPO の親御様お見合いサポート会	
事業種別	既存事業	新規事業
申請する助成の種類	NPO活動資金助成	新事業立上げ助成
過去に本助成を受けた実績	助成年度 ( ) 事業名 ( ) 助成年度 ( ) 事業名 ( ) 助成年度 ( ) 事業名 ( )	
この事業に対し他の助成の有無 (申請中のものを含む。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	有の場合は助成団体及び助成額 団体名： 助成額： 円
事業実施地域及び会場	戸塚地域センター(会議室1・2/計48名)：主に山手、西武、東西線 角筈地域センター(会議室A・B/計54名)：主に大江戸、京王線 新宿文化センター(第一会議室/60名)：主に中央総武、副都心線	
スケジュール (実施期間等)	戸塚地域センター:7/26、7/27、8/2、8/3、8/9、8/10のうち1日 角筈地域センター:11/22、11/24、11/29、11/30のうち1日 新宿文化センター:1/31、2/1、2/7、2/8、2/14、2/15のうち1日	
区民ニーズの把握状況 (それは、どのように把握したかを含む。)	<p>50歳時点での未婚者の割合を「生涯未婚率」と呼びますが、1975年には全国の生涯未婚率が男女平均で僅か2.12%であったのに対し、2010年には男性が20.14%、女性が10.61%と急上昇をしております。更に2013年3月に新宿区新宿自治創造研究所がまとめた「国勢調査データからみる新宿区の特徴」によると2010年時点での新宿区の生涯未婚率は男性33%、女性27%と他の地域と比べても極めて高い状況にある事が浮き彫りになっています。</p> <p>未婚が進む原因には社会全体の景気見通しの暗さや非正規雇用の増加を筆頭に様々なものが挙げられますが、1993年からの就職氷河期を必死に乗り越えてきた世代は仕事に没頭しているうちに結婚適齢期を逃してしまいがちになっているとも耳にします。</p> <p>『少子化社会対策白書』は緊急に対策が必要と現状分析をしつつも、具体策を提示出来ておりません。私ども結婚相談NPOはこの少子化問題を政府や自治体が対策を施し難い分野と判断し、世間全体が目を逸らしている現状から脱すべく、民間と公の間であるNPO法人という組織形態を選びました。</p> <p>親が子供の結婚に口を挟むべきでは無いというご意見も存じておりますが、今やお子様のご結婚で悩んでいらっしゃる親御様は何所にでもいらっしゃる、結婚する為に親御様からの何らかの助けを必要としている方々も少なからずいらっしゃいます。ところがお子様だけで無く、親御様も何をしたら良いか分からないとの事で実際に当NPOにもご相談が寄せられています。</p> <p>全国で行われている参加費1万円から2万5千円ほどの高級代理お</p>	

	見合い会が活況であると度々ニュースで取り上げられており、武蔵野市と協働で代理お見合いを実施している NPO に伺った所、予想以上のニーズから成功と判断していらっしゃる、新宿区やその周辺でも同様のニーズが有ると考えております。
事業の対象者	結婚の意思は有るが、経済的な理由や時間的余裕の無さよりなかなか一歩が踏み出せないご子息をお持ちの親御様。ご子息の婚活を応援したい親御様。
活動内容  ※必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等を添付し、又は印刷物等の資料を提出していただいても結構です。	親御様による代理婚活は親御様同士がご結婚をご希望されるご本人様の事前同意に基づき、ご本人様の身上書を持ち寄り、親同士でお見合いの前準備をするというものです。当 NPO 側にてプロフィールを個人情報伏せた状態でまとめ、予め会場にご用意し、まずは親御様同士がプロフィールを参考に代理お見合いを行います。 親御様同士が一通り、お見合いをされた後はプロフィールをお持ち帰りいただき、ご本人様とご相談の上、お見合い希望を当 NPO にご連絡いただきます。 お互いにお見合い希望が合致しました場合には後日、ご本人様同士にてお見合いを行っていただきますが、このお見合いの設定とお見合い結果の報告まで一連の作業を当 NPO を経由して行う事で、直接お相手に個人情報を伝えずにご交際の段階まで辿りつく事が出来ます。 会の運営及びお見合い実施までの一連のサポート、個人情報の保護は結婚相談 NPO のノウハウが活かされる部分でございます。
地域の人たちの事業へのかかわり方  (ボランティアとして参加する等、どのように地域の人がこの事業に参画することができるかを記入してください。)	開催場所近辺の店舗や法人等を周り、地域商店の跡取り問題や地域的な少子高齢化の状況・展望を伺いながら、ポスター等の設置や口コミを通して集客へのご協力をお願いし、ボランティアへの参加も積極的に呼び掛ける。 同時に店舗でのイベント開催など、基幹事業の結婚相談業における協働を提案し、協力を依頼する。
実行体制  (必要とされる人員とその確保のめど、必要な設備等)	<b>【イベント業務について】</b> 司会進行・受付：4名 ボランティア(補助)：2名 <b>【必要な設備】</b> 長机、椅子、ワイヤレスマスク×2、スピーカー、アンプ <b>【事前業務について】</b> 理事長：申し込み受付ホームページ作成、チラシ・ポスターのデザインおよび印刷依頼、スケジュール管理・報告書の作成 事務局長：スケジュール管理・会計業務

期待される成果	区民や地域にもたらす具体的効果	結婚を諦めている方々へのきっかけづくり。婚活における親御様の協力が必ずしもお節介では無く、必要としているご子息もいらっしゃるという意識の波及。少子高齢化問題とその将来的な影響と向き合う機会の開発。孫世代への代替わりには時間が必要だが、夫婦が揃う事で跡継ぎが可能になる店舗等、ローカル事業の継続。
	申請事業を実施することによる貴団体の活動への効果	当助成事業をご満足いただけるレベルで遂行する事で団体としての信用力の高まり、ご成婚による口コミ効果。 また、そもそも NPO 単独での影響力は限られており、地元事業者様との連携強化にも期待しております。
貴団体の経営基盤強化に向けた取り組みと今後の展望		<p>基幹事業である結婚相談業は信用力が極めて問われる事業であり、本事業の完遂が基盤強化に繋がると考えています。</p> <p>本事業は助成事業として無料参加にこだわりますが、実際には有料・無料よりも開催回数を優先すべきと考えており、今回の活動結果を元に赤字にならない範囲で規模や費用を調整しつつ、新宿発のイベントとして他の自治体にも本事業を拡大していきたいと考えております。</p> <p>もちろん新宿区での事業継続は最優先事項と捉えており、アンケートやお問い合わせ等からニーズを調査しつつ、実施してゆきたいと思っております。</p>

## 2 助成対象事業費内訳（積算根拠）

※協働推進基金助成金は、助成申請額を入れて積算して下さい。

※入場料又は会費を徴収して行うイベント、公演等は、必ず単価を入れてください。

(G)

	経費	積算根拠（内訳）	金額
収入	団体負担金		76,514 円
	参加費・資料代等		円
	その他の収入		円
	協働推進基金助成金	助成希望額	201,040 円
	計		277,554 円

	費 目	予算額	内 訳
支出 (助成の対象になる事業費の内訳)	会議費	14,100 円	戸塚地域センター会議室 1・2(13~17:15)=2,000 円 角筈地域センター会議室 A・B(13~17:15)=2,800 円 新宿文化センター第一会議室 (13~17:00)=9,300 円
	宣伝費	39,980 円	チラシ印刷(A4 両面カラー)4,000 枚=29,100 円 ポスター印刷(B3 片面カラー)700 枚=10,880 円
	リース費	800 円	新宿文化センターマイク設備使用料=800 円
	消耗品費	60,079 円	プリンタトナー代(4色セット)=19,667 円 プリンタドラム代(4色セット)=25,631 円 プラスチックカップ(40 個入)@317 円×5 パック =1,585 円 クリップ付ペンシル(200 本)=1,641 円 長 3 封筒(100 枚入)=656 円 長 3 封筒(300 枚入)=1,686 円 角 2 封筒(100 枚入)@2,084 円×2 パック=4,168 円 コピー用紙 A4(5,000 枚入パック) =2,631 円 宛名ラベル(100 シート入)=1,620 円 スティックのり(5 本入)=794 円
	謝礼	18,000 円	ボランティア謝礼@3,000 円×2 名×3 回
	人件費	53,610 円	人件費(当日)@4,000 円×4 名×3 回=48,000 円 人件費(会議・打ち合わせ)@2,000 円×2 名×3 回 =12,000 円 計 60,000 円中から助成対象事業費 20%より超過分 (6,390 円)を対象外事業費化 60,000 円-6,390 円=53,610 円
	材料費	25,457 円	クリップファイル A4 ブルー(10 冊入)@3,066 円×3 パ ック=9,198 円 クリップファイル A4 グリーン(10 冊入)@3,066 円×3 パック=9,198 円 吊下げ名札青(50 組入)=1,468 円 吊下げ名札赤(50 組入)=1,468 円 ポスターケース=2,089 円 折りたたみ台車=2,036 円
	交通費	8,400 円	交通費(当日)@400 円×5 名×3 回=6,000 円 交通費(会議・打ち合わせ)@400 円×2 名×3 回=2,400 円
	その他諸経費	47,628 円	郵便代(定形外 50g)@120 円×162 通=19,440 円 郵便代(定型 25g 以内)@82 円×162 通=13,284 円 郵便代(定型 50g 以内)@92 円×162 通=14,904 円
	助成対象事業費(小計)	268,054 円	

助成対象外事業費	9,500 円	緑茶 2.0L(12 本入り)@1,555 × 2 ケース=3,110 円 人件費中、助成対象事業費の 20%超過分=6,390 円
事業総額		277,554 円

### 3 その他

助成金申請額を減額して助成金の交付決定をした場合、助成対象事業の遂行は可能ですか。

( はい※ ・ いいえ ) ※規模の縮小にて対応可

#### 助成対象経費

下記項目以外の経費（飲食費等）は、対象といたしません。

項目	経費の種類
①会議費	打合せ、会議資料コピー代、会場使用料等
②宣伝費	チラシ、ポスター等作成費
③リース費	事業に直接必要な機器の賃借料
④消耗品費	事務用品の購入費
⑤謝礼	講師、協力団体等への謝礼（1時間当たり1万円を限度とし、1日当たり3万円を限度とする。）
⑥人件費	事業実施に直接関る事業主体の人件費として時間単価1,000円、1日あたり1人4,000円を上限として、かつ助成対象事業費の20%以内
⑦材料費	事業に直接必要な材料の購入費
⑧交通費	公共交通機関の交通費、講師との事前打合せのための交通費等（タクシー代は除く。）
⑨その他諸経費	損害保険料、郵送料等（チャリティ募金、寄附金等は除く。）